1. 目標都市像

つちうら恋物語~寄り添い合うまち〜

班員：メルリーニ愛乃(班長)・江端杏奈（副班長）・芦田佳樹・高木力貴也

TA：秋保佳祐

　土浦市にとって市民が住み続けてくれることが幸せであり、市民にとっては市が魅力的になることで市に惹かれ住み続けたいとなるのでないかと考えた。そこで、これからも幸せに付き合い続けられる恋人のように寄り添うあう相思相愛な関係を目指す。相思相愛な都市であるためには、土浦が市民にとっての魅力を創出し、市民が土浦を愛し地域に寄り添いたくなるまちを目標都市像として掲げる。



　　　　　　図1:都市構想図

　目標都市像に到達するための段階は以下の通りである。STEP1ではお互いを知ることを目的とする。市民に対しては市民満足度調査を行い、土浦に対する意識を探る。土浦に対しては分野別に現状と取り組みを調査する。第一回中間発表ではここまでのまとめを発表する。STEP2ではアプローチを行う。調査を踏まえた結果を踏まえSTEP3ではプロポーズにあたるプランの提案を行う。3つのSTEPを踏むことで、土浦市が寄り添い合う相思相愛の都市が実現できる。



　　　　　　　図2:段階図

1. 市民満足度調査

　市民による愛着が年々減少している。また、つくば市と比較しても愛着を持っている割合が少ない。



　　　　　 図3:土浦市に対する愛着

　さらに市民満足度調査の中で満足度が小さい施策についてまとめた。これらをもとに、「にぎわい・観光」、「自然・環境」、「安全・安心」、「医療」、「交通」の5分野に分類した。土浦現状分析においては、これらの現状と市の施策について詳しく見ていく。

1. 人口分析

　コーホート要因法を用いた分析の結果、2051年には人口が12万人を下回ることが予想される。また、高齢化率（65歳以上人口割合）は2016年と比較して9%増加し、その一方で生産年齢人口割合（15歳〜64歳人口割合）は6.5%増加することが予想された。今後2051年の人口を13万人に設定し今後の提案を行うことにする。



　　　 図4:土浦市の人口推移

1. 土浦市現状分析

4-1. にぎわい・観光

4-1-1. 農業

現状

　土浦市は全国一位の出荷額を誇るレンコンをはじめとして多種の作物を栽培している。昭和61年から平成22年にわたって農家戸数が兼業農家を主として減少している。耕作放棄地は増加している。年齢別農業従事者を見ると高齢化が進んでいることがわかる。将来の農業の担い手を確保するためにも若い世代に農業への興味を持ってもらうことが必要である。



　　　　　 図5:農家戸数の推移（種別）



　　　　　図6:耕作放棄地面積の推移

取り組み

　市民農園は年3500円で1区画の農地（20㎡）を借り、農業体験が出来る。ヨリアイ農業は消費者と生産者が寄り合うことを目的としたプロジェクトであり、農業体験ができるのに加え、毎月土浦産の米や野菜の宅配サービスが行われている。地域の作物の美味しさを知ってもらうことで農業に対する関心が深まることを期待している。

4-1-2. 工業

現状

　土浦市には4つの工業団地が存在し東筑波新治、テクノパーク土浦北、神立の分譲地は完売している、おおつ野ヒルズは72%が使用されている状況である。

取り組み

　先の工業団地に新増設した法人には 奨励金として固定資産税・都市計画税の相当額を連続する3年間交付するという土浦市企業立地促進奨励金制度がある。

4-1-3. 商業

現状

　土浦市の商業の中心地である中心市街地において図7の通り、店舗数、販売額ともに減少している。背景にはモータリゼーションが進行に伴い、近年の郊外ショッピングモールの開業による消費者の流出が考えられる。



図7:中心市街地の店舗数・販売額の推移

取り組み

　中心市街地の商業を活性化させるための取り組みの一つとしては地域貨幣のきららの利用促進があげられる。キララちゃんバスに乗車し、協賛店舗で1回1000円以上の買い物をするともらえる通貨でバス運賃補助券として利用できる。中心市街地開業支援事業では中心市街地活性化基本計画で定められた区域内の空き店舗を活用して新規に開業すると１ヶ月の家賃の半分を補助する制度であり、これにより新たな店舗の誘致を進めている。

4-1-4. 観光

現状

　平成26年度の月別観光客数のグラフ（図8）からわかる通り、土浦花火大会など大きなイベントがある月には多くの人が訪れているが、それ以外の月の観光客は少ない。土浦には霞ヶ浦や筑波山嶺などの自然やまちかど蔵などの多くの資産があるにもかかわらず、活かしきれていない状況である。



　　　図8:平成26年度土浦市月別観光客数

取り組み

　土浦市観光計画によると、「自然」・「歴史」・「文化」・「人」をいかした観光の振興による活力とにぎわいのある魅力的なまちづくりの推進を目標とし、それぞれの資産の魅力化を図っている。資産活用の例として霞ヶ浦でのマリンスポーツ体験（自然）や土浦城趾、旧水戸街道の整備（歴史）、カレーフェスタ（文化）、まちかど蔵のボランティアガイド（人）などがある。

4-2. 自然環境

現状

　川の水質は、全体として改善が図られてきている。一部の河川では、望ましい水質とされるBODの基準（環境基準）を達成するようになり、その他の河川も環境基準の達成に近づきつつある。霞ヶ浦の水質は、有機汚濁の指標となる COD の他にアオコなど植物プランクトンの栄養となるちっ素やりんについても環境基準が定められているが、いずれも大幅に超過している。 霞ケ浦流域では，有機汚濁（COD）だけでなく、ちっ素やりんの削減が求められる。

　　　　　　図9:霞ヶ浦のCOD推移

取り組み

　生活排水に係る排出負荷を削減するためには、発生源である家庭における実践活動の推進が極めて重要であり、それには、地域住民と行政が有機的に連携した取組が必要である。 市では、生活排水対策の牽引的役割を担う「土浦市家庭排水浄化推進協議会」の活動の充実化を図るとともに、環境基本計画推進協議会や各地区の市民委員会環境部等との協力体制を構築し、地域特性などに応じたきめ細やかな活動を展開していく。 また、家庭における実践活動による効果の効率を上げるためには、多くの市民が河川や霞ケ浦をより身近に感じ、水質浄化意識の向上が重要であることから、県、市、市民団体が行っている催し物や環境学習、自然観察会などのイベントについても積極的に情報発信し、市民の参加率・認知率向上を図るため、様々な取り組みを行っている。

4-3.　交通

現状

　土浦市内の常磐線の駅（土浦駅、荒川沖駅、神立駅）の乗降者数は平成12年から平成26年にかけて合計で約1万人減少している。中心市街地にはコミュニティバス「キララちゃん」が運行しており、その利用者は年々増加している。その一方で、特に高齢化が高くなっている新治地区には平成26年にコミュニティバスの試験運行が終了して以来、バス路線がなく公共交通機関の地域による格差が大きいといえる。



　　　図10:土浦市内の駅1日平均乗降客数



図11:町丁目別高齢者割合とバス路線

取り組み

　中心市街地にはコミュニティバス「キララちゃん」　が運行しており、その利用者は年々増加している。キララちゃんバスは地域通貨のキララを運賃として利用できる。また、65歳以上の高齢者を対象として土浦市限定で年会費を払えば片道600円で利用できる（地区によって例外あり）のりあいタクシー土浦がある。

4-4.　医療

現状

　平成27年に土浦協同病院がおおつ野地区に移転し、周辺施設とともに充実している一方、北部には総合病院がなく、立地に偏りがあるように思われる。また、協同病院へのバスは平均運行間隔約38分と間隔が空いており、公共交通機関での利用者にとってはアクセスが悪い状況になっている。



　　図12:医療機関の分布

4-5.　安全・安心

現状

　土浦市の犯罪率は３年連続茨城県最下位である。現地調査に行った印象では駅前や大通り沿いであるにもかかわらず街灯が少なく暗かった。

取り組み

　土浦市では自治体との協働事業として防犯灯の設置・維持管理費の一部補助をおこなっている。また、防犯カメラを駅中心に土浦全域で合計36台設置しており、環境の整備を進めている。

1. まとめ

　　　　　　表1:分野別課題まとめ



1. 今後の方針

　以下の3つの段階を踏み、寄り添い合う相思相愛のまちを目指す。

　　　　　　　　　　表2:方針

|  |
| --- |
| STEP1(満足度調査・現状調査)  　第一回の中間発表では、市民に対しての調査が市民満足度調査にとどまったので今後、より市民に対する理解を深めるためにヒアリング調査を行う。また、土浦市について地区別の分析を深める。 |
| STEP2（調査を踏まえて方針を立てる）  　STEP1の調査をもとに発見された分野別の課題に対し施策の考案と評価を行う。 |
| STEP3（プランの提案）  テーマに沿った具体的な提案の策定を行う。 |

1. 参考文献

1)国土数値情報http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/

2)基盤地図情報サイト - GSI HOME PAGE - 国土地理院www.gsi.go.jp/kiban

3)NPO法人 まちづくり活性化土浦 キララちゃんバスhttp://npo-kirara.org/

4)秋田市　コーホート法について

http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/statistics/nobiyuku/2jinko/suikei/h18/cohort.pdf

5)土浦市役所ホームページ

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/index.html

6)土浦市都市計画マスタープラン

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page000545.html

7)第７次土浦市総合計画

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page00003html

8)土浦市耕作放棄地解消計画

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page002673.html

9)都市と農村の交流事業

http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page00028html

10)ヨリアイ農場 http://yoriaifarm.org/

11)中心市街地活性化計画

https://www.city.tsuchiura.lg.jp/data/doc/1395893268\_doc\_34\_0.pdf

12)観光客動態調査結果／茨城県

http://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/kanbutsu/kikaku/doutaityousa.html

13)観光いばらきhttp://www.ibarakiguide.jp

14)土浦観光協会http://www.tsuchiura-kankou.jp

15)土浦市公共交通http://www.t-koutsu.jp/index.html

16)関東鉄道http://kantetsu.co.jp

17)総合病院　土浦協同病院http://www.tkgh.jp

18)茨城県警察https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/